

日本臨床検査専門医会

平成 25 年度第二回全国幹事会議事録

平成 25 年 6 月 28 日

日本臨床検査専門医会 平成 25 年度第二回全国幹事会議事録

開催日時：平成 25 年 6 月 28 日（金）14 時 00 分～15 時 35 分

開催場所：湯本富士屋ホテル 本館 1 階 双子の間

出席者：佐守 友博会長、小柴 賢洋副会長、菊池 春人、佐藤 尚武、
東條 尚子、米山 彰子、渡邊 卓各常任幹事、
河野 誠司、幸村 近、佐藤 麻子、清水 力、諏訪部 章、
藤原 久美、村上 純子、盛田 俊介各全国幹事、土屋 達行監事

欠席者：木村 聡副会長、池田 均、高木 康各常任幹事、安東由喜雄、
大谷 慎一、尾崎由基男、北島 勲、下 正宗、末広 寛、
杉浦 哲朗、田窪 孝行、舩渡 忠男、松尾 収二、松永 彰、
三井田 孝、宮地 勇人各全国幹事、高橋 伯夫監事

事務局：市川 綾子（敬称略）

定刻、佐守 友博会長挨拶の後、議長として佐守 友博会長を満場一致で選任した。議長は議長席につき開会を宣した。

審議事項

第一号議案 議事録署名人選任について

議長は本会の議事録署名人の選出を議場に諮ったところ満場一致をもって次のものを選任した。

議事録署名人 佐藤 麻子、藤原 久美各全国幹事

第二号議案 平成 25 年度会長・監事選挙について

議長は、会長および監事が平成 25 年 12 月 31 日をもって任期満了となるため、改選の必要がある旨を述べ、会長・監事選挙規程ならびに投票要領を三宅 一徳選挙管理委員長に代わり、東條 尚子庶務会計幹事に提案させた後、審議に諮った。投票は、前回同様郵送方式とし、投票表紙を内封筒、外封筒に入れ、事務局宛てに郵送する要領が提案された。

諏訪部 章全国幹事より、選挙人の不正が生じないよう外封筒は記名式とし、記名のものは無効とすべきとの意見があり、選挙規程にこれを加え、満場一致をもって承認可決した。

なお、今後の選挙日程は以下である。

- ① 6 月 29 日（土） 総会で承認を得る

- ② 7月1日(月) 選挙の予告を出す
- ③ 7月16日(火) 推薦・立候補手続き開始(公示開始)
- ④ 7月31日(水) 推薦・立候補締め切り(公示終了)
- ⑤ 8月16日(月) 会長所信表明締め切り
- ⑥ 9月9日(金) 投票開始
- ⑦ 9月24日(火) 投票締め切り(消印有効)
- ⑧ 9月28日(土) 開票
- ⑨ 10月31日(木) 第三回全国幹事会ならびに総会で報告

第三号議案 新入会員について

議長は、渡邊 卓資格審査・会則改定委員長に、平成25年1月26日から6月28日までに入会申込書が提出された34名について、その詳細を説明させた。会則第3章第6条にのっとり、入会許可を議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決した。

第四号議案 名誉会員・有功会員の推薦について

議長は、名誉会員、有功会員の推薦について、その詳細を渡邊卓資格審査・会則改定委員長に説明させた上、これを議場に諮ったところ、会費納入を前提とすることで、全員異議なく承認可決した。

記

名誉会員の推薦

猪川 嗣朗、上田 國寛、上田 尚紀、岡部 紘明、桑島 実、櫻林郁之介、戸谷 誠之、中島 伸夫、橋詰 直孝、橋本 琢磨、古田 格、松田 信義、皆川 彰、吉田 浩(以上14名、アイウエオ順、敬称略)

有功会員の推薦

青木 紀生、網野 信行、荒木 英爾、伊藤 章、内村 英正、大川 二郎、置塩 達郎、菊井 正紀、木下 亀雄、高阪 彰、小島 洋子、小西 奎子、小林 功、小林 正之、近藤 重信、清水辰一郎、鈴木 実、高野喜久雄、高原喜八郎、高柳 尹立、竹中 徹、竹中 道子、田中 俊彦、塚田 裕、辻 浩一、長野 拓三、中村 良子、那須 勝、保崎 清人、松山 文夫、水岡 慶二、向島 達、村上 賢二、村上 俊一、安田 和人、山上 松義、由谷 親夫、米満 博(以上38名、アイウエオ順、敬称略)

第五号議案 会則の改定について

議長は、会則改定について渡邊 卓資格審査・会則改定委員長に説明させた

後、その賛否を議場に諮ったところ、満場一致をもってこれに賛成した。よって議長は、会則改定案が承認可決された旨を宣した。

記

<現行>

細則

第2条 会員は、会則第3章、第6条の入会申込用紙の記載事項に変更があった場合は、(以下省略)

<改正後>

細則

第2条 会員は、会則第3章、第6条の入会申込書の記載事項に変更があった場合は、(以下省略)

以上

第六号議案 外注検査利用状況の全国大学病院アンケート調査(第60回日本臨床検査医学会学術集会共催シンポジウム)について

議長は、第60回日本臨床検査医学会学術集会において共催シンポジウムを企画したことを述べた後、河野 誠司全国幹事から、この共催シンポジウム発表にあたり、全国国公立大学病院附属病院検査部を対象に、外注検査利用状況のアンケート調査を実施したい旨を説明させた。これを議場に諮ったところ、満場一致をもって承認可決された。

アンケート内容については、後日、全国幹事に案を送って意見をきくこととなった。

第七号議案 専門分野別ネットワークの構築について

議長は、専門分野別ネットワーク構築ワーキンググループを立ち上げ、第一回ワーキンググループ会議を開催したことを説明した。専門分野別ネットワークは、最初は会員(賛助会員を含む)間の問題解決システム(Q&Aシステム)として運用するが、体制が整えば、臨床検査技師等の医療関係者に拡大し、さらにシステムのブラッシュアップができれば、一般人にも開放したい。まず、会員の専門分野を調査し、各専門分野別にグループを作り、リーダーを決め、運用法を検討する。各グループでは半年に1度程度、模範的なQ&Aを選別しホームページにアップする。また、回答したことなどに対して、専門(管理)医更新・専門(管理)医等受験資格の点数加算ができるよう日本臨床検査医学会に申請し

たい。

菊池 春人ワーキンググループ委員に Q&A システム案について説明させた。質問者は、質問内容の専門分野を選択して質問をメールで送信する(記名式)。Q&A システムは、該当する専門分野グループに所属する回答者にメールを自動送信する。受信者のうち、回答できる者が返信する。この流れが自動的に運用できるようにシステムを構築したい。

ネットワーク運用の概略について審議した結果、満場一致で承認された。今後、さらに具体的に検討することになった。

システム作りに対し正式な見積もりはまだ取っていないが、ある程度の予算がかかることも承認された。

記

専門分野別ネットワーク構築のためのワーキンググループ

委員長 佐守 友博 会長
委員 池田 均 情報・出版委員長
菊池 春人 教育研修委員長

以上

第八号議案 「全国検査と健康展」(技師会主催)について

議長は、本年11月開催予定の「全国検査と健康展」について、主催である日本臨床検査技師会から本会に対し、共催団体としての協力要請があった旨を述べ、協力する旨を説明の後、審議を諮ったところ、満場一致をもって承認可決された。

なお、協力体制については、具体的な開催要領が示された後に検討することとなった。

報告事項

1. 第60回日本臨床検査医学会学術集会共催シンポジウムについて

盛田 俊介全国幹事、河野 誠司全国幹事より、下記開催予定であるとの報告があった。

記

第60回日本臨床検査医学会学術集会 共催シンポジウム

「医療機関として病院はいかに検査センターとの互惠関係を育むか」

日時：11月2日（土）〈2日目〉14:10～16:10

会場：第3会場（神戸国際会議場 401+402 200名収容）

司会：盛田 俊介（東邦大学医療センター大森病院臨床検査部）

河野 誠司（神戸大学医学部附属病院検査部）

はじめの挨拶 盛田俊介（5分）

第一部

1. 河野 誠司（神戸大学医学部附属病院検査部）
「外注検査利用状況全国病院アンケート結果について」（15分）
2. 小川 眞史（株式会社エスアールエル）（25分）
「検査センターを上手に使ってもらうには」（仮題）

第二部

3. 小柴 賢洋（兵庫医科大学臨床検査医学）（25分）
「ブランチラボから自主検査への移行を経験して」（仮題）
4. 瀬戸山 友一（三菱化学メディエンス株式会社）（25分）
「病院と検査センターの新しい検査連携をめざして」（仮題）
5. パネルディスカッション（25分）

以上

2. 各種委員会、WG 報告

① 情報・出版委員会

池田 均委員長に代わり、東條 尚子庶務・会計幹事より報告があった。LabCP（31巻1号）は、「骨髄像診断加算：検査医の役割と実践」として、宮地 勇人全国幹事に編集をお願いした。JACLaP News とともに、今週末発送予定である。JACLaP Wire は会員限定版と非限定版を配信している。日本衛生検査所協会ラボの新しいシリーズ、「健康診断での検査の意味を知ろう」が、平成25年4月から開始されている。

② 教育研修委員会

菊池 春人委員長より、以下の報告があった。第82回教育セミナー（平成25年5月19日9:00～17:00、於慶應義塾大学）は、申込み者50名、うち出席者45名であった。今回はじめての試みとして、講義と輸血・微生物デモンストレーションを実施した。デモンストレーションのDVDはすでに申込み者に発送した。

第3回生涯教育講演会（平成25年6月28日 16:00～18:00）は、全国幹事会のあと引き続き開催される予定である。講演内容は、「外部精度管理を検査室運営にどう生かすか」前川真人先生（浜松医大）と「臨床検査における利益相反—検査室は企業とどのように付き合うべきか」佐藤尚武先生（順天堂東京江東高齢者医療センター）。

第60回日本臨床検査医学会学術集会時、若手の会を日本臨床検査医学会と日本臨床検査専門医会の共催で開催する予定である。日本臨床検査医学会教育委員会への協力を行う予定である。

③ 渉外広報委員会

木村 聡委員長に代わり、東條 尚子庶務・会計幹事から、第30回振興セミナーについて以下の報告があった。

記

第30回振興セミナー

開催日時：平成25年7月19日(金)14:00～17:00

開催場所：東京ガーデンパレス 2F 高千穂

1) アンケート報告

「医師に好かれるMRとは ～会員アンケートからみえるもの」

木村 聡（日本臨床検査専門医会 渉外・広報委員会 委員長）

2) 『新しい抗血栓療法が臨床検査に求めるもの』

尾崎 由基男（山梨大学医学部臨床検査医学教授）

3) 『日本臨床検査薬協会の透明性ガイドライン

及び飲食等に関するプロモーションガイドライン改訂』

堤 和也（一般社団法人 日本臨床検査薬協会 流通委員会

プロモーション部会長、ロシュ・ダイアグノスティックス(株)）

4) 『最近気になるウイルス感染症とワクチン開発の最前線』

上田 重晴（大阪大学名誉教授）

以上

④ 保険点数委員会

佐藤 尚武委員長より、以下の報告があった。平成 26 年度診療報酬改定に向け、内保連を通じて厚生労働省に提出した提案書は、下記の 11 項目であった。なお、生理検査管理加算(未収載項目)は、内保連のヒアリングの結果を受け提案を取り下げ、トレッドミルによる負荷心肺機能検査、サイクルエルゴメーターによる心肺機能検査(既収載項目)は、日本心臓病学会の提案書に一本化した。

また、内保連検査関連委員会 生体検査 WG は、生体検査の臨床的評価とコストの追加調査を行い、前回(平成 24 年度)に引き続き、厚労省に提案書を提出する予定である。コスト調査はすでに終了しており、現在、平成 24 年度に新規収載された検査項目について臨床的評価の追加調査を行っている。

記

日本臨床検査専門医会から厚労省に提出した提案書(既収載項目)

1. 皮膚灌流圧測定検査(SPP)(項目設定の見直しと増点)
 - 日本臨床検査医学会、日本循環器学会、日本動脈硬化学会、日本皮膚科学会、日本血栓止血学会との共同提案
2. 血液採取(増点)
3. 蛋白分画(包括対象項目からの除外)
4. シスタチンC(適応拡大)
5. 終夜睡眠ポリグラフィー(増点)
6. 悪性腫瘍遺伝子検査(増点)
7. 血液細胞核酸増幅同定検査(増点)
8. Major bcr-abl 核酸増幅精密測定(増点)
9. UDPグルクロン酸転位酵素遺伝子多型(増点)
10. サイトケラチン(CK)19mRNA(増点)
11. WT1 mRNA 定量(増点)

以上

⑤ 専門医数増加方策検討WG報告

三宅 紀子 WG 長に代わり、東條 尚子庶務・会計幹事から以下の報告があった。臨床検査専門医を広く理解してもらうため、本会ホームページに「臨床検査専門医とは?」というタグを新設し、「ぼくらは臨床検査専門医」という企画を立ち上げ、7名の臨床検査専門医を紹介している。

3. 第 60 回日本臨床検査医学会学術集会における各種委員会特別企画について

諏訪部 章全国幹事（日本臨床検査医学会 チーム医療 WG 委員長）より以下の説明があった。第 60 回日本臨床検査医学会学術集会において、各種委員会特別企画として日本臨床検査医学会チーム医療 WG が「臨床検査とチーム医療～臨床検査医学会としてどのように取り組むべきか～」を企画した。検査に関わる日本臨床血液学会、日本臨床化学会、日本臨床微生物学会、日本臨床検査専門医会の各学会のチーム医療に対する姿勢や取り組みを発表してもらい共通の認識を持ち、一致団結してチーム医療を推進していくことを目的とする。日本臨床検査専門医会からは佐守 友博会長より、村上 純子先生がシンポジストとして推薦された。

これを受けて村上 純子先生より、当会ではいままで、「チーム医療に対する姿勢や取り組み」に対するディスカッションは行われていない。そこで、現在どのようなチーム医療を行っているか、また、これからやりたいチーム医療について、会員を対象にしてアンケート調査を行った。この結果をもとに、今回の春季大会で話し合いたいと説明があった。

4. 第 24 回春季大会について

清水 力大会長より、第 24 回春季大会について下記の報告があった。

記

開催予定日： 平成 26 年 5 月 30 日、31 日

開催場所： 北海道大学医学部学友会館 「フラテ」

以上

5. 第 1 回日本臨床検査専門医・管理医審議会報告

小柴 賢洋副会長より、平成 25 年 6 月 20 日に開催された、平成 25 年度第 1 回日本臨床検査専門医・管理医審議会の報告があった。新規・再認定施設審査結果、第 30 回（2013 年度）検査専門医資格審査結果、同試験要領について審議された。

日本臨床検査専門医会の教育セミナーへの出席は、臨床検査専門医認定試験の受験者に必要な報告書の一部（1～2 科目）を替えるための単位となる。今年度より、セミナーの内容が講義と検査技術デモンストレーションに変更された事にもとない、実技がないことから講義として扱い、5 単位とすることで承認された。

日本臨床検査医学会の臨床検査専門医制度検討委員会にて臨床検査専門医は

基本領域に止まるべきか、subspeciality 学会専門医への移行を願い出るべきかを検討し、基本領域に止まるべきという結論に至ったとの報告があった。

また、臨床検査専門医認定更新規定の一部改定が審議された。改定箇所は下記に記す。

記

<現行>

(4) 日本臨床検査医学会が主催または後援する学術講演会でのリスクマネジメントに関する講習会に1回以上出席すること。

<改正後>

(4) 日本臨床検査医学会または日本臨床検査専門医会が主催するリスクマネジメントに関する講習会に1回以上出席すること。

6. その他

佐守 友博会長より、2016年8月に神戸で開催予定の、International Federation of Biomedical Laboratory Science (IFBLS) の学会(学会長 宮島 喜文)に日本臨床検査専門医会会長の参加要請があったことが報告された。

東條 尚子庶務・会計幹事より、事務局に FAX 回線が増設されたと報告があった。FAX 番号は、03-5823-4110。

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので、議長は閉会を宣し解散した。

議事録署名人

平成 25 年 8 月 1 日

佐 藤 麻 子

平成 25 年 8 月 7 日

藤 原 久 美